

令和3年7月10日

令和3年度全国高等学校総合体育大会東京都役員・選手団の結団挨拶

東京都高等学校体育連盟会長
奥 秋 将 史

「走れ 北信越の大地を とべ 北信越の大空へ」、このスローガンのもと、福井県、新潟県、富山県、石川県、長野県、和歌山県において、令和3年度全国高等学校総合体育大会「輝け君の汗と涙 北信越総体2021」が開催されます。

今年度のインターハイの東京都役員・選手結団に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

まずは、コロナ禍の中、厳しい東京都の予選会を勝ち抜き、都の代表としての栄冠を手にした選手の皆さん、インターハイへの出場、誠におめでとうございます。

また、これまで、選手を支え、温かくご指導いただきました顧問・コーチの先生方、各専門部役員の先生方に心から感謝申し上げます。

選手の皆さんには、憧れのインターハイに、東京都の代表として、そして同時に、一丸となって戦うことのできる「チーム東京」の一員として、堂々と胸を張って出場して頂きたいと思います。

昨年はインターハイ史上初の全国総合体育大会の中止を余儀なくされました。当時の3年生にとっては最後のチャンスを奪われてしまうこととなり誠に残念でした。

昨年の悔しい思いと参加できなかった先輩方の無念を晴らしていただければと思います。皆さんの戦う姿勢も気力を充実させ、ぜひ勝利を呼び込んでください。

そして、いよいよ今夏には「2020東京オリンピック・パラリンピック」が開催されようとしています。ちなみに、オリンピック精神とは「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」とあります。インターハイの精神も同様で「スポーツマンシップ」、「フェアプレー」、「正々堂々」という言葉が浮かぶように、試合に勝つことを目的にしながらも、自分達がどういう態度で臨んだのか、取組み、姿勢、態度も問われています。

高校生スポーツの長い歴史と伝統を積み重ねてきたこのインターハイは、文部科学省・スポーツ庁や各県の教育委員会が主催し、また全国民にも知名度の高いイベントとなっています。長く続けてきた背景には、その意義が、「参加者一人一人の感動をもとにした体験が『人生の大きな人間形成の場』になっている」からだとは私は確信しています。ここにいる皆さんは是非このことを肝に銘じてください。

結びに、皆さんの今回のインターハイ出場には、自分一人の力だけではなく、多くの方の支えがあってこそ実現しています。様々に関わった方へ感謝の気持ちを忘れず、東京都代表という誇りと同時に謙虚さも持ってください。そして熱い応援をして下さる方々に、勇気と感動を与えられるよう、「**爽やかに 鮮やかに 一心に**」最高のパフォーマンスを発揮されることを期待し、激励と健闘を祈ります。